

上総地区発足45周年記念B-P祭

実施報告書

[WEB版]



目次

挨拶	大会長	上原 進	-----	3
	運営本部長	関口 陽市	-----	3
	実行委員長	廣谷 信子	-----	4
所感	地区ミッショナ プログラム部長	小西 章夫	-----	5
		小野 泰紀	-----	5
	安全管理部	佐久間 秋男	-----	6
	総務部長	福岡 久士	-----	6
大会概要			-----	7
	10. 運営組織		-----	8
	11. プログラム概要		-----	9
	14. 各ブースの運営状況		-----	11
資料	検討実績		-----	15
	参加者		-----	15

挨拶

地区B - P祭を終えて

大会長 上原 進

地区B - P祭は、大変寒い中活動ご苦労様でした。当日は怪我もなく、無事に終わることができ、これも参加をされた皆さんをはじめ、企画された実行委員会の皆さんのご尽力のおかげです。

プログラムは実行委員会の協力で、楽しいプログラムが出来上がり、成功裏に終わることができ感謝申し上げます。

地区全員が集まる事業として今回は200人規模です。以前の事業に比較しますと、参加人員が小さくなっております。これは、各団の加盟員が少なくなっていることを示しております。ボーイスカウト活動を楽しく、魅力のある活動にしようではありませんか。

単一の団だけでは、隊運営がスムーズに運営されない状況です。近い団と合同で隊活動を企画しませんか。早く計画し実行しましょう。

隊集会を地区全体の活動として企画する場合は、特に気温等に気を配り、企画をされた方が良いと感じました。

地区B - P祭を終えて

運営本部長 関口 陽市

上総地区発足45周年記念B - P祭、無事に終わりました。各役員の皆様、各団のゲーム担当者の皆様、準備から後片付けまでいろいろありがとうございました。

市原第3団と市原第5団のトン汁も寒い中での暖かい食べ物、大変おいしかったです。

開会式、B - Pの垂れ幕は素晴らしかったです。これから活用の方が沢山ありますように。

参加者の組分けも準備からご苦労があったことと思います。ボーイスカウトの班を中心にビーバースカウト、カブスカウトがそれぞれ組みになって順位を競い合う試みでした。

地区ローバースが、各団のブースからの得点を集計して順位が決まりました。

ゲーム中に全体を見ると、参加していたスカウトの人数が少なくなったことを実感しました。これは地区全体の問題として取り組み、感想や評価と反省にまとめて、次の活動につなげていきたいと思っております。

地区発足 45 周年記念 B - P 祭

実行委員長 廣谷 信子

上総地区発足 45 周年記念として久しぶりに地区内 8 団が一堂に会し、B - P 祭を開催することができました。実行委員会として、開催場所、テーマ、プログラム等、皆様方に力を合わせて取り組んでいただき、記念行事に相応しい展開になりましたことに感謝申し上げます。

B - P の誕生日が 2 月 22 日で、気候的には寒い時期であり、過去には大雪で中止になったこともありました。今回も途中雪がちらつき、温かい豚汁ブースがにぎわっていましたが、各団のテーマに沿って考えていただいたプログラムサイトにも、班長中心に寒さに負けず、ビーバースカウトも一生懸命挑戦していた姿に感動しました。その中で、班長のリーダーシップがとれていた班の得点が高く、結果優秀班につながったことは、ボーイスカウト運動の一貫性を感じとれる良いゲーム展開だったと嬉しく思いました。また、全体を引っ張っていたローバースカウト、ゲームブースの中で活躍していたベンチャースカウトの成長も頼もしく、後に続く後輩スカウトや保護者の皆様にも目に見える行動でした。

小西地区コミッショナーの発案のテーマも、B - P の懸垂幕も 45 周年行事に相応しい見事なものとなりました。

多くの皆様方に支えられて、無事に終了できましたことに感謝申し上げます。



所感

地区B - P祭を通して

地区コミッショナー 小西 章夫

上総地区45周年記念地区B - P祭が開催されました。今回のテーマは、「スカウティング 111 (トリプルワン) ブラウンシー島から…」としました。これは、ボーイスカウト運動の始まりとされる英国ブラウンシー島での実験キャンプが開催された1907年から111年であること、そして、スカウトの三つのちかいから、スカウト運動の原点に触れるような活動を目指しました。

B - P祭当日だけでなく事前に、地区内のボーイ隊班長に「班長への手紙」を送り、『スカウティング・フォア・ボーイズ』を読んで、スカウトに活動をより理解するような班活動を促しました。また、カブ部門でも事前に「組長への手紙」を通して、世界各地について調べた壁新聞作成をしました。

B - P祭当日は、途中小雪の舞う寒い1日でしたが、テーマにちなんだゲームで盛り上がりました。班(組)活動と地区内全団のスカウトが集う活動を通して、スカウト活動の原点を少し考えることができました。

地区B - P祭実行委員会プログラム部として

プログラム部長 小野 泰紀

プログラム部では、第1回実行委員会で決められたテーマ「スカウティング 111 (トリプルワン) ブラウンシー島から・・・」に基づき第1回プログラム部会にて、団混成チームで6カ所(B - Pにちなんだゲーム・ソング・スカウト技能・世界にひろがるスカウト運動・救急法・食事)のブースを設けゲーム展開する案を提示しました。

グループ編制については、現BS隊の班を基準にカブ隊の組単位、ビーバー隊の団単位でシャッフルしてグループを作りBS隊班長のリーダーシップの下、各ブースを回りゲームに参加する案を提示しました。

プログラム展開場所としたグラウンドは、前日に各ブースの区分けを行い開会式等の準備を済ませ本番に備えました。

B - P祭当日は、小雪も舞う肌寒い一日となりましたが、スカウト達は小西地区コミッショナーにて提案されたB - Pの肖像画に見守られながら元気いっぱいゲームに取り組み姿が見受けられ、ボーイ隊を中心にまとまり多人数にて活動する楽しさを十分に味わえた事と思います。また各団カブ隊では、森地区副コミッショナーの提案による壁新聞に取り組み、組集会にて作成した壁新聞を展示して、その素晴らしい出来映えには感動しました。

各ブースでは、テーマに則した面白いゲームプログラムが実施され、2個団混成ブースもチームワーク良く運営されていました。スカウト達の元気な歌声、歓声がグラウンド一杯に広がり、「トン汁ウマイ」ブースでの食べ比べも大いに満足する仕上がりで有りました。

今回のB-P祭は、ベンチャー隊は団の支援に回ってもらい、ローバースカウトに開会式、閉会式の実施計画書作成から当日の司会進行まで全て任せて、期待通りのスムーズな進行振りには目を見張る物が有りました。打ち合わせ不足により、閉会式での各ブースのゲーム結果の講評が抜ける等の反省点は、今後に繋げる事にしましょう。

地区一丸として実施した【上総地区発足45周年B-P祭】成功裏に終えることが出来たのは上総地区の団結力の賜だと思えます。皆様のご協力に感謝申し上げます。

地区B-P祭を終えて

安全管理部 佐久間 秋男

安全管理部は、安全委員会、スカウト育成委員会、国際委員会、地区VSが委員会メンバーとなり、事前の準備及び開催当日の安全管理にあたりました。当日の駐車場確保のため、事前に地元鶴舞町会、セミナーハウス関係者と話し合い万全の体制を取りました。

各団ブースのゲーム計画書には「安全対策・留意点」を記載してもらい、プログラムの安全面の確認を行いました。また万一の事故に備え、あいおい損保(株)の傷害保険(42円×200人)に加入しました。なお、保険該当の事故はありませんでした。

交通指導につきましては、各委員会より3名の方々に早めに出ていただき、事前に設定した営火場、体育館と食堂裏に誘導、会員の方々に詰めて駐車頂き特に問題なく対応できました。

救護所の対応としましては、安全委員会より2名の方の救護所常駐、又会場内に指導者として参加している看護師2名の方をお願いし、非常時即応体制が取れる様手配いたしました。東金のお友達1名が階段を走って上がった際に転んで額を切りましたが、病院災害とはなっておりません。

開会及び閉会セレモニーの防寒対策については、当日の気温が低かったため防寒具着用可とし、国旗儀礼の時だけ防寒具を脱ぎ制服となりました。

以上、皆様のご協力により大過なく上総地区発足45周年記念B-P祭を終えることができました。誠に有難うございました。

地区B-P祭を終えて

総務部長 福岡 久士

総務部は、事務局を中心にスカウト拡充、地域委員会、幹事で編成し、実施要項を作成、参加人数把握、参加費の徴収、支出を行いました。

約15年ぶりに開催となった上総地区B-P祭ですが、企画・検討・実施までの期間が極めて短期間にもかかわらず、各部門・各団の協力により無事開催できました。

天候が曇り、小雪、晴れとめまぐるしく変わり、寒さの中での開催となったのにもかかわらず、大きな事故も無く無事終了できたことは良かったと思えますが、寒さの厳しい中での開催は、今後の反省につながったのではないかと思います。

最後に総務部としては、取り纏めに時間を要し、報告が遅くなったことをお詫びします。

大会概要

1. はじめに

上総地区発足45周年を記念し、ビーバースカウトからローバースカウトが一堂に会し、ベーデン・パウエル誕生祭を祝う。これを機にボーイスカウト運動の原点を見直し、セレモニーやゲームを通して、スカウティングの楽しさを体感できる催しとする。

2. テーマ

「スカウティング 1 1 1 (トリプルワン) ブラウンシー島から・・・」

3. 開催日時

平成31年2月17日(日) 午前 9時30分から15時

4. 開催場所

市原市 和光大学セミナーハウス

住所 市原市鶴舞 66-1 電話 0436-88-2700

5. 参加範囲

スカウト、指導者、保護者、兄弟、お友達、一般参加者

6. 概略日程

09:00~09:30 受付

09:30~ 開会セレモニー

導入(大きなB-Pの肖像画) アイスブレイキングゲーム

10:00~14:30 プログラム展開 5つのブースで、ゲーム等実施
ゲームは順位をつける(グループごと)

昼食(トン汁)

14:30~14:45 閉会セレモニー

14:45~15:30 片付け、清掃、解散

7. 参加費

一人:500円 用途 諸準備から実施報告書作成までの経費

大会の設備・資材費用・プログラム展開に必要な費用

配布資料代、その他

別に団分担金(各団登録人数分、参加章ワッペン代として)

8. 参加申込み方法

各団でとりまとめ、申込用紙に必要事項を記入し、総務部に期限までに提出する。

申込期日 : 平成31年1月31日(木)

9. 持ち物

個人:お椀、箸、コップ、スカウト弁当、水筒、防寒着、雨天時は上履き(スリッパ不可)

各隊のいつもの持ち物・・・カブ隊はロープ、ボーイ隊はロープ、簡易計測器(できれば自作のもの)は必ず持参

団 : 参加者名簿(当日用)、参加費(ワッペン代金は後日集金)

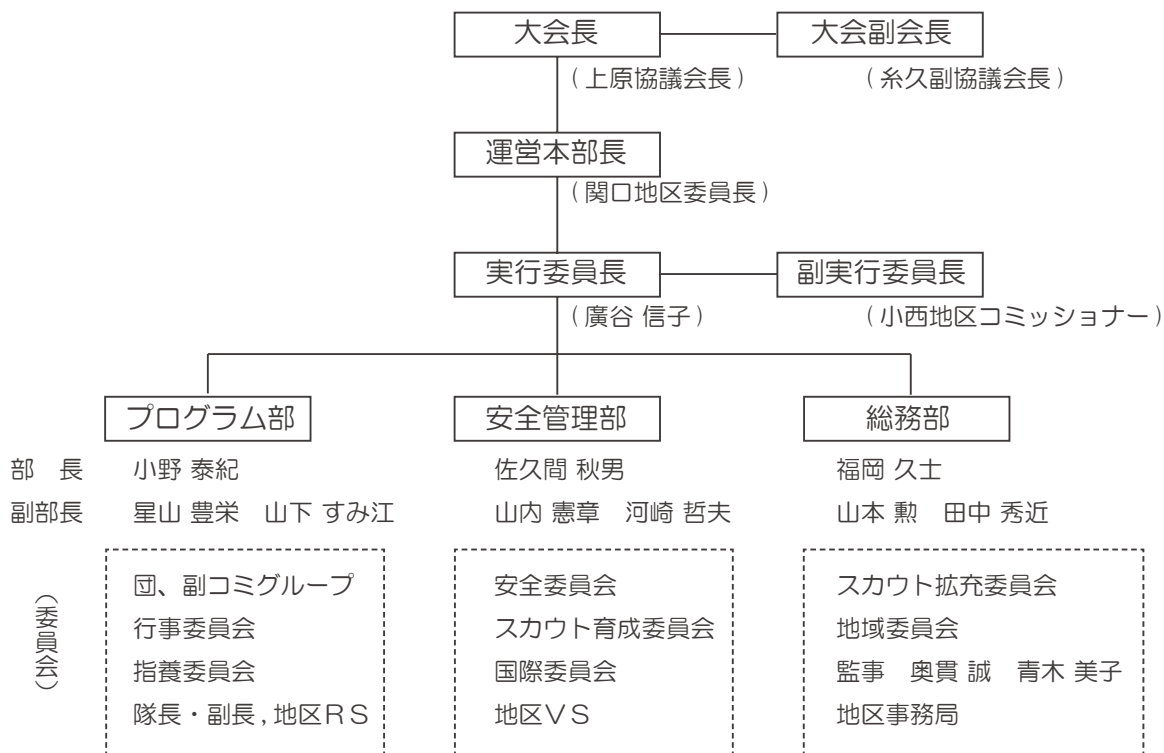
隊旗(各隊)、三脚を固定するもの(ペグや角材等で工夫する)、救急箱、ブルーシート2枚以上(各団個人荷物置き場用等に使用)、プログラムに必要なもの

参加章(ワッペン)を着用して参加

ビーバー隊:制帽の右横(空いているところ)

カブ隊以上:制服の右ポケット中央

10. 運営組織



◇各部門の主な業務内容

部門名	各部門の主な業務内容
大会長	・円滑に業務を進捗するため各部門を統括管理し必要に応じ指示命令する
大会副会長	・円滑に業務を進捗させるため、大会長を補佐し、大会長不在時は代行する
プログラム部	全てのプログラムに関する事項を管理 ・各セレモニーのプログラムの策定、運営。 ・全体プログラムの検討立案・プログラムガイドの作成。 ・安全マニュアルの作成。 ・配布資料の作成
安全管理部	・各部門プロの安全面の確認、指導、承認、(プロ展開時の安全面支援) ・怪我、疾病に対応する救急活動(病院への搬送、救急車の手配含む) ・保険対応。 ・安全マニュアルの作成。 ・駐車場管理及び受付への誘導。
総務部	渉外全般。会計処理(予算管理含) ・施設借用依頼 ・参加費の検討。徴収の場合金額案設定。 ・実施要項編集。 ・広報 ・受付(来賓者の対応含む)。 ・記録全般、実施報告書編集。 ・参加事前受付

11. プログラム概要

◇各ブースのゲームプログラム

	プログラム名	ゲームのテーマ 内容 等	担当
1	ブラウンシー島	B-Pにちなんだゲーム	東金1、大網白里1
2	ララ世界の友	ソング スマートネス	茂原2
3	ウデダメシ	スカウト技能	市原6
4	アンノウンスカウト	世界に広がるスカウト運動 23WSJ	市原1、RS
5	シッカリセヨー(?)	黒点ゲーム (救急法 災害救助)	市原7
6	トン汁ウマイ(?)	食事 トン汁	市原3、市原5

※ 事前に「班長への手紙」を配信し、ボーイ隊の各班は準備をしておく。

カブ隊は、「カブスカウトへの手紙 (名称未定)」を配信し、組集会で準備をしておく。

12. 安全対策について

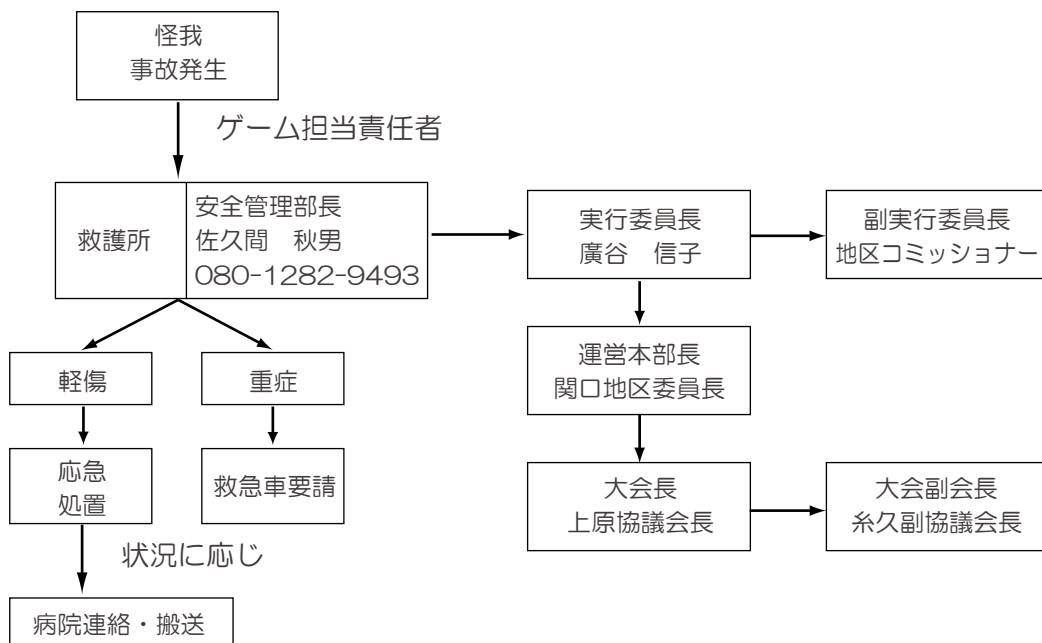
(1) 安全への配慮

- ・ B-P祭で使用する設備・備品は、十分な点検・整備を行う。
- ・ 各ゲームの安全対策をプログラム担当責任者に周知し、履行する。
- ・ 万一の場合に備え、参加者全員レクリエーション保険に加入する。

(2) 救護処置

- ・ 不測の事態のために救護所を設置する。

【事故時対応図】



○ 緊急連絡先

- [救急車] 中央消防署 0436-22-8110
市原警察署 0436-41-0110
[病 院] 千葉県循環器病センター（鶴舞） 0436-88-3111
[当番医]

13. 駐車場について

当日の駐車場は、以下の2か所

○施設 営火場

案内の誘導に従い、詰めて駐車していただきますので途中出入りはできません。

係の指示に従い、人の特にスカウトの降車には、十分注意してください。

○消防分団詰所（284号道路沿い）

出入りが必要な車は、こちらを利用してください。



14. 各ブースの運営状況

(1) ブラウンシー島へ ようこそ!! (東金第1団、大網白里第1団)

B-Pは、子どもたち20人を集めて、ブラウンシー島でキャンプをしました。

キャンプをするまえに、島での生活に必要なロープ結び(本結び、ひとえつぎ、巻き結び)をやっ
てくるように宿題を出しました。

キャンプの最終日には鳥班と獣班に分かれて綱引きをしました。

ブラウンシー島での体験キャンプが終わった後「スカウティングフォアボーイス」を6回に分け
て発行しました。



(2) ラララ世界の友 (茂原第2団)

おや?このカードに何か書いてある。私とあなたとあなたと・・・カードを組み合わせたら歌が出来た。みんなで歌おう!



(3) ウデダメシ (市原第6団)

これまで培ってきたスカウト技能を用い、距離、高さを割り出す。

ビーバーやカブは、身体の内らこちらを使って長さを測り、ボーイは自分で作った簡易計測器を使って長さや高さを測定する。



(4) アンノウンスカウト (市原第1団 ローバース会議)

各班のアンノウンスカウトが、ロープが広がるように投げ、全員が輪の中に飛び移り、クイズに挑戦。正解したら次の国に輪を投げる。6か国をどれだけ早く訪問できるかな?



(5) シッカリセヨー？（市原第7団）

鶴舞の地の風土病に冒された人を助けるお話。

ボーイは、毛布と竹で急造タンカをつくり、倒れた者をロープの中に運び入れる。

ビーバーは、看板に表示された薬草と同じ薬草カードを集めて、カブが作ったロープの形の中に置く。カブは、4本のロープではな結び、ひとえつぎ、本結び、もやい結びを作り、つなぎ合わせ、地面に「呪いを解く形（十字形）」に置き、風土病に侵された人を助ける。



(6) トン汁ウマイ？（市原第3団、市原第5団）

寒い冬には温かい「トン汁」が一番！

3団と5団が作ったトン汁、どちらがうまい？ 本当は両方食べてはいけないのだけれど、沢山作ってくれたので、お替りして、どちらもおいしくて大満足。



(7) 壁新聞 (カブ隊)

参加するカブ隊が、B-Pにちなんだことから、事前に調べて壁新聞にしました。



ベスト新聞賞 (市原第3団)



発表壁新聞 (全体)

資料

検討実績

- ・ H 30.11.28 第1回実行委員会
- ・ H 30.12. 6 プログラム部会
- ・ H 31. 1. 9 第2回実行委員会
- ・ H 31. 1.26 現地地下見
- ・ H 31. 2. 6 第3回実行委員会

参加者

市原1団

BV：深山 達平、青柳 芯、田中 理航、坂本 顕心

CS：佐藤 凜空、末廣 昊大

BS：若海 勇真、阿部 まりあ、上野 雄貴、時田 隼輔

VS：高梨 純也

指導者：高橋 祐樹、深山 梨恵子、倉知 篤彦、若海 寛子、関口 陽市、田中 秀近、加藤 依子、
佐藤 理絵、國吉 重吉、高梨 朗、鈴木 國夫、(常世田 勝司；加)

保護者等：末廣 英里子、青柳 七重、坂本 順子

市原3団

CS：花房 美咲

BS：楠瀬 琴美

指導者：楠瀬 順子、山本 恵美子、花房 千嘉子、樋口 雅子、河崎 哲夫、高木 慎治、
山本 祥

市原5団

BV：穂坂 匠海、月岡 栳音、牧田 蒼菜、渡辺 健太、小澤 陸、征矢 愛子

CS：板倉 滉翔、小澤 蒼空、征矢 大暉、征矢 千優

BS：伊藤 隆大、野口 瀬良

VS：杉田 友香

RS：膳棚 和也、杉田 公介

指導者：丹治 啓介、平野 初代、根里 智子、杉田 香織、伊藤 順子、立石 恵美子、征矢 直子、
石垣 千草、桐谷 喜心、征矢 善充、蔭山 恵

保護者等：牧田 美弥子、月岡 真美、小澤 久美子、小澤 美海、征矢 義国、征矢 絹代、穂坂 哲也、
板倉 麻美

市原6団

BV：山川 茉央、星山 創音、小熊 悠太、鏝田 ひより、岩佐 実織、田中 葵、片倉 一桜、
小熊 直央、片倉 千暁

CS：市本 乃彩、穴倉 遼、笹木 大夢、山下 逞翔、川本 颯馬、宮村 直暉、笹田 愛美、
安藤 楓馬、首藤 和菜

BS：倉本 緋呂、荒井 瑠海、藤井 堅翔、木下 聡、朝倉 陽菜乃、武内 雅樹

VS：倉本 日向、高橋 友希

RS：溝田 藍、中島 七海

指導者：伊藤 精三郎、高橋 順子、山川 めぐみ、小熊 知絵、鏝田 さやか、倉本 悟、森 真紀、
小野 泰紀、武内 浩子、藤井 章子、宮村 明美、安藤 博子、笹田 康幸、高橋 敦、井上 啓一、
富永 友香、高浦 英一、中島 理恵、朝倉 伸久、崎本 仁、上原 進、星山 豊栄

保護者等：田中 麻美、岩佐 和子、片倉 祥子、片倉 三葉、片倉（子）、田中（子）、井上凱仁、
井上智衣、宮川 樹、宮川 智代、中野（父）、中野（子）

市原7団

BV：横山 涼大、渡辺 陽真、渡辺 陽向、青木 万穂、網干 美純、石坂 こころ、萩野 怜

CS：岩月 隆乃介、横山 理空、青木 大和、横山 悠生、弓削田 温、中谷 拓、小池 涼太、
宇田川 裕翔

BS：田中 健慎、安田 一樹、浜武 美音、藤本 明日香、伊東 秀真

VS：中谷 蒼太、宮下 雅行

RS：小西 あかり

指導者：小西 章夫、土橋 一弘、小西 啓子、安田 美ゆき、田中 真紀、山本 清珠、長嶋 辰巳、
横山 貴志、青木 幸洋、岩月 美鈴、中谷 暁、弓削田 緑、山本 清貴、廣谷 信子、福岡 久土、
中台 光秀、中村 希三代

保護者等：渡辺 寿之、青木 一恵、青木 円香、網干 貴幸、網干 千里、石坂 直子、横山 雄二、
萩野 由子、横山 由紀子、横山 房江

茂原2団

BV：梶岩 陽人、岡本 夏菜子、鈴木 大喜、石谷 優芽

CS：小泉 将輝、市川 真悠、小高 快斗、實方 伊乃、入口 斗真

BS：渡辺 そら、渡邊 琥珀、入口 蒼希、山口 莉奈、平島 一輝、中田 逸聖、大貫 桃菜、
河野 瑞穂、渡辺 咲月

VS：鈴木 幸喜、小泉 公輝

RS：小泉 由輝、菊元 洋佑、藤田 花菜

指導者：海藤 裕子、實方 有紀、青木 美子、渡邊 広樹、高橋 知顕、片山 大、青木 崇、青木 勇、
小泉 由彦、吉野 勝弘、長谷川 みどり

保護者等：梶岩 貴之、鈴木 伸治、石谷 百枝、吉野 佑司

東金1団

BV：平船 光貴、廣田 琉衣

CS：佐久間 順土、市原 愛佳、廣田 理馬、出下 暁、藤田 雄也、高宮 美桜

BS：行木 慧志

VS：佐々木 凜太郎、宮本 晶

指導者：山下 博行、北野 弘、秋山 誉文、布施 喜寛、出下 和美、行木 陽子、藤田 裕子、

高宮 サカ卫、市原 永子、佐久間 亮一、粟生 弥生、稲垣 恭彦、嶋田 浩三、山下 すみ江

保護者等：山口 広太郎、平船 結子、廣田 知美、廣田 玲奈、山口 陽子

大網白里1団

BV：能勢 渉太郎、平井 里彩

CS：島田 侑瑞樹、佐々木 梢

BS：笠井 眞尋

VS：永嶌 孝太郎

RS：佐々木 俊

指導者：平井 龍生、笠井 史子、花野 紘彰、遠藤 克利、永嶌 美智子、宮本 修治、奥貫 誠、

山本 勲

保護者等：能勢 威三郎、能勢 淳太郎

上総地区発足45周年記念B - P祭実施報告書

発行日：2020年5月1日

編集発行：ボーイスカウト千葉県連盟 上総地区

45周年記念B - P祭実行委員会